



小豆坂小学校

校長室だより

さくら坂

第96号

28.9.23

上：動作化で思いを表現する1年生
中：グループ交流で討論する4年生
下：座標軸を使ってまとめる3年生



「ヌスビトハギもカエデの種も、旅をするところが似ています」「反対です、種は、人間と違うから旅なんかしないと思います」「でも、人にくつついたり、風で飛ばされたりして、冒険の旅に出ます」「やっぱり種は、冒険をしないと思います」「ヌスビトハギの種は、人間がバスに乗るように、人間がバスになって種を運んでいくことと同じじゃないかなと思います」…これは、水曜日に生活科の授業で、話し合い活動に夢中になる一年生の様子です。種が動物にいたり、風で運ばれたりして仲間を増やすことを、「種が旅をする」「種が冒険をする」と表現する一年生の感性の豊かさに驚きました。入学して半年、友達と学び合う楽しさに溢れた子供たちは、輝いていました。「親子連れの人たちが楽しめる小豆坂マップ作り」を話し合う四年生。「小豆坂にチョウランドを作ろう」と計画を進める三年生。どの授業でも、自分の言葉で述べ、友達の意見に一生懸命耳を傾け、うなづいて聞き、さらに自分の考えを深める…素晴らしい「学びの姿」がありました。文科省では次期学習指導要領の改訂が進められています。その柱の一つに「学びを人生や社会に生かそうとする、学びに向かう力・人間性の涵養」があります。すでに小豆坂の子供たちは、自ら「学びに向かう力」を、大きく伸ばそうとしています。「わくわくする学び」を今後も展開していきます。

「学びに向かう力」

小豆坂点描

ハチ退治 大作戦！

学校のドングリ広場や農園、時には教室にハチが飛んで来るようになりました。ドングリ広場の木の樹液に集まって来ていたのです。様々な虫が来るのですが、中でもスズメバチに困りました。ハチ専用の殺虫剤等も、各階の教室に用意して、樹液の出る木々の近くを立ち入り禁止にしました。近くに巣があるかもしれないと、学校中を調査しましたが見つかりません。巣があれば、アニモに連絡して撤去してもらえますが巣がないと対処療法しかありません。そこで地域の方に教えていただいて、6年生が作った「ハチ捕獲器」が大活躍。かなりのハチを捕獲できました。そして先週末、地域の総代さんたちが学区を調査して、スズメバチの巣を2つ見つけ、退治してくださいました。

